

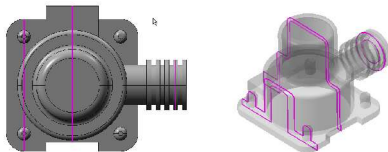
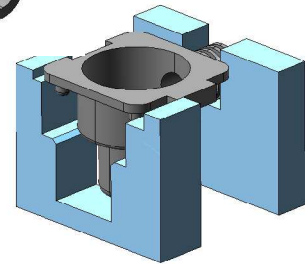
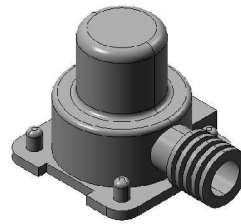
ThinkDesign-BOX_{module}

POINT 1

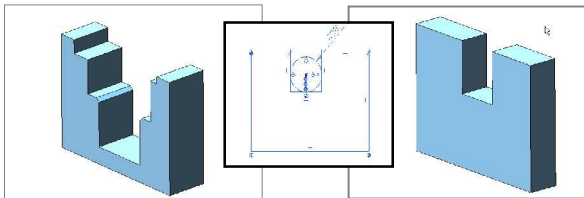
3次元製品データから緩衝材設計

POINT 2

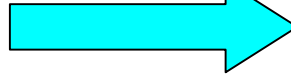
- ・ソリッド サーフェース展開
- ・段ボール緩衝材データ生成



緩衝材の形状を決める為、製品から断面線を抽出します。



フォーム材カット

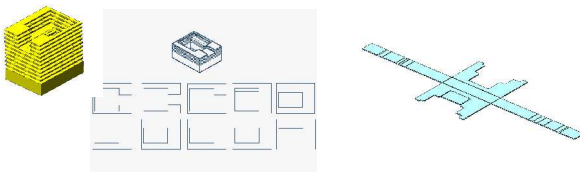


カッティングマシン

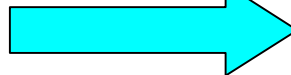
最小 1300×1300
最大 5000×2200



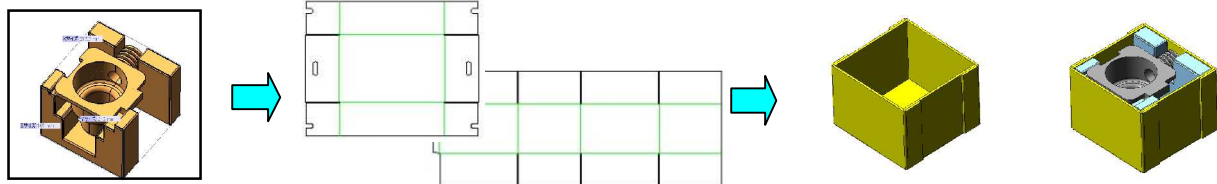
3次元データの断面を自由な場所で、指定してフォーム材、発泡スチロールのデータを簡易に作成する事が可能です。勿論、2次元データにして即カッティングマシンで緩衝材の確認作業も行なえます。



段ボールカット



作成された緩衝材データ(ソリッド)から厚みのある段ボールの面データ(サーフェース)を構築、底面を指定後、1コマンドで2次元展開する事が出来る為、段ボール緩衝設計に威力を発揮します。また、段ボールの厚みピッチで断面データが簡単に出来ますので、緩衝積層段ボール作成にも利用できます。



内容物の内寸から、外装箱を定型パターンと連動して展開図面の製作を行なえます。また、その手順を組み合わせ、組立梱包要領書を作成する事は勿論、作成手順をアニメーション的に動作させる事が可能です。